

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	宮前区第3グループ(蔵敷・菅生)	評価対象年度	平成23年度
事業者名	・事業者名 特定非営利活動法人あかい屋根 ・代表者名 理事長 丸山 幸一 ・住所 川崎市宮前区菅生ヶ丘13-2	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	宮前区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	<p>1 蔵敷こども文化センター ①年間延べ利用者数 17,930人 ②年間延べ利用団体数 373団体</p> <p>2 菅生小学校わくわくプラザ ①登録者数 283人 ②年間延べ利用者数 11,165人</p> <p>3 犬蔵小学校わくわくプラザ ①登録者数 404人 ②年間延べ利用者数 16,404人</p> <p>1 菅生こども文化センター ①年間延べ利用者数 26,069人 ②年間延べ利用団体数 549団体</p> <p>2 稗原小学校わくわくプラザ ①登録者数 281人 ②年間延べ利用者数 12,333人</p>
収支実績	<p style="text-align: right;">単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 79,109,900</p> <p>2 支出 人件費 61,491,503 管理費 9,069,202 事務経費 7,827,605 その他経費 合計 78,388,310</p> <p>3 差引 721,590</p>
サービス向上の取組	グラウンド整備や幼児用砂場の設置等、利用者が利用しやすい環境整備を実施していた。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進	順調に事業の推進が図られているか	10	3	6
	事業成果	こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか	5	4	4
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由) 蔵敷こども文化センターについては、前事業者が運営協議会とともに実施していた「夏祭り」「さんま祭り」「もちつき」「蔵敷パーティー」を引き継ぎ、事業を推進していた。また、中学生を対象とした行事の実施に努めていた。菅生こども文化センターについては、「おやつ作りクラブ」や利野外活動を主にした「ONEパーク」等を実施していた。こども文化センターの利用者が第1期指定管理時(平成18年度～平成22年度平均値)と比較して、13.0%の増加であった。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出がなされているか(収支バランスが取れているか)	5	3	3
		支出に見合う効果が得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか			
(評価の理由) 金銭管理・会計手続についても適切に行われ、概ね提案どおりの経費執行であった。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	3	3
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	5	3	3
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会が実施されているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会が実施されているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携が図られているか	10	3	6
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	5	3	3
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
(評価の理由) 宮前市民館との共催による講座の実施や菅生中学校区地域教育会議と共催する「道親ネットワーク」(児童の見守り)を実施していた。 対応が必要なわくわくプラザ利用児童に関して小学校と共同で行っていた。 子ども運営会議、運営協議会やクラブの代表、利用団体を構成員とする企画会議を実施し、ニーズの把握に努めていた。					
組織管理体制	適正な人員配置	こども文化センターにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	3	6
		わくわくプラザにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか			
		事業の目的を考慮した適正な職員(児童福祉施設最低基準)が採用されているか			
	職員の研修体制	予定していた研修が実施されているか	5	3	3
		職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか			
個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	5	3	3	
(評価の理由) 市主催の研修への参加も多数あり、職員のスキルアップを図るため、概ね提案どおりの研修が実施され、個人情報等の取扱については、情報漏えい及び紛失等の事実はなかった。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
		利用者の安全確保			
	防犯対策	緊急時のマニュアル等が整備されているか	5	3	3
		・施設の防犯のための工夫がされているか			
	災害への対応	災害発生時のマニュアル等が整備されているか	5	3	3
		避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか			
(評価の理由) 安全管理については、始業前点検・終業時点検の徹底を実施していた。菅生こども文化センターについては、グラウンドの砂舗装及び夜間照明の設置、幼児用砂場の設置など、利用者が快適に利用できるよう環境整備に努めていた。					

4. 総合評価

評価点合計	62	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

蔵敷こども文化センターについては、今年度から指定管理者が変更したが、適切に引継ぎを行い、前事業者が運営協議会とともに実施していた「夏祭り」「さんま祭り」「もちつき」「蔵敷パーティー」を従前どおり実施していた。菅生こども文化センターについては、「おやつ作りクラブ」や利野外活動を主にした「ONEパーク」等を実施していた。
安全管理については、始業前点検・終業時点検の徹底を実施していた。菅生こども文化センターについては、グラウンドの砂舗装及び夜間照明の設置、幼児用砂場の設置など、利用者が快適に利用できるよう環境整備に努めていたことは評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、こども文化センターの利用者が利用しやすい環境の整備に努め、児童が安全で安心して過ごせるわくわくプラザの運営に努めること。また、災害への確実な対応を図るため、防災対策のさらなる充実に努めていただきたい。
運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の特色を生かした行事の実施等を行うこと。